

令和4年度予算への「とちぎ自民党」の要望が反映された施策

県議会「とちぎ自民党」では、令和4年度予算編成に伴い、社会資本整備や、安心安全な生活な確保、また農業振興施策等、様々な視点から要望を行いました。  
以下予算に反映されたものを一部抜粋してご報告致します。

安心安全対策

信号機や道路標識の老朽化対策の推進をすることを目的に、交通安全施設の増額が反映されました。また、**特殊詐欺を未然に防ぐこと**を目的としたキャラバン隊を編成し、高齢者宅への戸別訪問や、若者が特殊詐欺に加担することないように、広報活動の強化するための予算が反映されました。



子育て対策

幼児教育の充実を図り、安心して子育てができる環境を整備することを目的に、**幼稚園運営費補助の増額を要望し反映**されました。また、より良い教育環境の確保を目的に、**県立高校の施設整備費の増額を要望し、令和4年度予算に反映**されました。



産業対策

「経済と環境」の好循環を達成することを目的として、**脱炭素化による成長産業への支援や、中小・小規模事業所の経営安定のための資金の円滑化等が反映**されました。また、将来を見据え、**産業人材の確保を目的とした「とちぎ職業人材カレッジ(仮称)」の創設に向けた取組が、令和4年度予算に反映**されました。



農業対策

いちごの新品種「とちあいか」や、トマト、ニラ、アスパラなど、**今後更に需要が見込まれる品目への施設整備や、ブランド力強化に向けた取組を要望**、また、**新規需要米への作付け転換への支援や、「とちぎの星」の高品質化、また農産物のPR費増額を要望し、令和4年度予算に反映**されました。



事務所移転しました

石坂まさる後援会事務所

真岡市台町13-4

TEL:0285-81-7595 FAX:0285-81-7596



ホームページ



Facebook



Instagram



ごあいさつ

拝啓 春暖の候 皆様におかれましては、新たな年度を迎え、忙しい中にも、晴れやかさのある季節をお迎えのことと存じ上げます。

さて、長引く新型コロナウイルス感染症の影響や、ロシアによるウクライナ侵攻等により、世界的な混乱が生じている中ではありますが、このような時代だからこそ、**信頼できる政治が求められている**ように思います。私にとりましても、1期目最後の年度となり、令和4年度につきましては、**教育行政、警察行政を所管する、文教警察委員会の委員長を拝命させて頂きました**。少子化が急加速的に進み、社会の情勢が目まぐるしく変化する中で、子ども達がそれぞれの価値観を大切にしながら学ぶことができる**教育環境の整備**や、SNS等を通じたトラブルが増加する中、**情報リテラシーの向上に向けた取組み**、また、**高齢者や、子ども達が巻き込まれる事故を未然に防ぐ交通安全対策や、頻発する特殊詐欺への対策等**、山積する課題を少しでも前に進めて参ります。また、**本年は国体が42年振りに本県で開催されること**になります。スポーツ振興を所管する委員会として、しっかりとサポートをしながら、本県選手団の目覚ましい活躍によって、少しでも県民の皆様にも明るい話題が提供されることを心より念願するところでもあります。

末筆になりますが、本年もコロナ対策をしっかりと進めながらも、アフターコロナを見据えた取組も着実に進め、**県民の皆様から信頼される県政**となるようしっかりと取り組んで参りますので、引き続きのご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

栃木県議会議員 石坂 まさる

# 令和3年度活動報告

## 農林環境委員会での活動

令和3年度は農林環境委員会の副委員長を務めさせていただきました。委員会では「地域農業を支える担い手の確保」を特定テーマに据え、8回に渡り調査・研究を行いました。

持続可能な農業の展開を見据え、幅広い視点からの課題抽出に取組み、3項目(「1、地域の担い手の確保」「2、新たな担い手の確保」「3、担い手の収益力向上のための生産環境づくり)について、報告書を提出させていただきました。

詳しくはこちら



## グリーン社会実現特別委員会での活動

令和3年度に新たに設置された本委員会では、脱炭素社会の構築に向けた、本県の目指すべき方向について3項目の重点テーマを定めて、12回に渡り調査・研究を行いました。

県内の現状や、国の方向性、また、多種多様な産業界からの意見聴取等を行い、5項目の提言を行い、また提言を実現するための意見も添えさせていただきました。

詳しくはこちら



## 自転車条例の制定について

栃木県では自転車による事故の増加を受け、「栃木県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を可決しました。本年4月から施行され、それに伴い、本年7月1日より「自転車保険の加入」が義務化されます。また、ヘルメットの着用や、点検整備が努力義務として定められていますので、詳しくはチラシや、下記QRからご確認ください。



栃木県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例について  
栃木県公式ホームページ



## 令和3年度一般質問より

### 今後の県立高校の在り方について

令和3年度の一般質問において、「令和の日本型教育の構築に向けた県立高校の在り方について」の質問を行いました。その中で、本格的な少子化を迎えるに当たっての、県立高校の再編についても触れさせていただきました。超少子化の中においても、教育の質を保ち、子供たちがそれぞれの個性を活かせるような教育環境を整備するためには、次代を見据えた教育内容の充実はもちろんのこと、急加率的に進む少子化に対応する、県立高校の再編も併せて計画的に進めていく必要があると考えます。



### 令和の日本型教育とは

国において、超少子化という時代背景の中、2020年代を通じて実現を目指す学校教育の姿として、「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協動的な学びの実現」とし、「幼児教育」「義務教育」「高等学校教育」「特別支援教育」の各段階による目指すべき姿が示されました。

特に県立高校の在り方については、現在の制度ができた1948年以来初めとなる普通科改革に踏み込み、「普通教育を主とする学科」については魅力ある、特色ある学科の設置を可能としました。新学科のイメージは、「SDGs(持続可能な開発目標)など現代的な課題への対応を図る学科」や「少子高齢化など地域社会が抱える課題解決を探る学科」また、その他特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科になります。

### 栃木県の少子化の状況

中学校卒業見込み者数

令和3年度 17,400人 → 令和16年度 13,600人

3,800人が減少し、県立高校のクラス数に置き換えると、  
95クラス分の減少数になります

人口比率で比較すると

15歳から19歳 90,481人 0歳から4歳 69,077人

【2万1千人が減少】